議員と気軽に語る会 実施報告書①

開催日時	令和６年５月 16 日（木）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	八千代プラザ
対象集落	赤坂・俵田・中野間・仕出原・下野間
参加者数	19 人
出席議員	班長（　橋尾哲夫　）　司会（　門脇教蔵　）　記録（　橋尾哲夫　） （　藤本一昭　）（　門脇保文　）（　市位裕文　）（　廣畑幸子　） （　清水俊博　）（　笹倉政芳　）（　藤原清勝　）（　内橋志郎　） （　日原茂樹　）
意見発表	（　藤本一昭　）（　橋尾哲夫　）（　門脇保文　）（　市位裕文　）
意見まとめ	・行政の窓口の設置。子育て世代に対する行政のバックアップが無い。 ・住民の提案要望を聞いてくれる団体がない。一言一言に対し返答できる町になること。 ・土日住民に寄り添い意見を聞く。職員の人事配分を考えて。 ・町づくりを一緒に取り組むこと。多可町に住みたくない理由や問題点についてアドバイスができる。 ・集会は土日にしか人が集まらない。住民の気持ちになって行政を運営すること。「村づくりは人づくり」であるため否定的な考えも柔軟に物事を考え新しい参加者を増やすこと。 ・子育て世代は情報を多く持っている。活用すべきである。 ・発祥地に拘らず、新しいものに取り組み発展性につなげること。 ・若い人は田舎のシステムに馴染みにくい。 ・頑張ってやっていても「何処どこの嫁や」と言われるのが嫌だ。やる気がでない。 ・消防団員の妻たちは操法の練習が嫌だと思う人が多い。 ・婚活の内容が古い。成功報酬が少ないから発展性が無い。 ・中学校は令和８年４月開校。子どもの数が年間 50 人前後。問題は小学校の合併のほうが先決ではないか。小中一貫校を考えるべきではないか。10 年後 20 年後を見据えること。 ・医療費が高騰する中、介護保険を抑えること。町は高齢者の健康増進の取り組みの充実を図ること。健康ウォーキングを拡大させること。 ・ガルデン八千代グラウンドの利用が増えている。熱中症対策が不十分。木陰や日陰などを増やし、ベンチ等の充実をはかること。 ・「きっとありがとう」の歌の ＰＲ 促進を図るべき。敬老の発祥の町で

	ある。 ・中北条線の道路沿いの山の立木が大きくなり、倒木の危険があり、事故の心配があるので伐採すること。 ・限界集落になってきている。村の維持管理に苦労している。地域の役員は高齢化し、その中で役員を回している。役員の責任が増々重くなり、負担が多くなっている。 ・多可町に企業誘致すること。実際自分の子どもが地元に仕事先がないと帰って来いとは言えない。 ・各団体の維持存続。役が当たるのが嫌だということで参加しない人が多い。各団体の魅力がなくなってきている。老人会の活動としてはグラウンドゴルフは別として、趣味として活動しているようになっている。 ・八千代区の道路状況は中区、加美区に比べ新設道路は少なく、道路拡幅工事の進んでいない。 妙楽寺からの道路状況はどうか。産坂の道路拡幅は。（県の計画済み） ・子育てするならダントツ多可町で、給食費の無料化、おむつの定期便を。 ・地場産業の見直しと過疎対策を。 ・農業、林業、播州織 ・商工会と連携し中小企業対策 ・八千代区は工場建設には無指定 ・新中学校において、生徒指導の充実を。（いじめ自殺の無いこと） ・アスパルの健太君のぬいぐるみを販売しては。 ・人口減少と高齢化に対しては女性の声を聞く検討会を立ち上げること。 ・運転免許証を返納すれば移動手段はなくなる。タクシー券はあるが、デマンドタクシーを取り入れること。 ・いきいきサロンを月１回やっているが、鍵の開閉は必要。実際の参加者が行事の初めから終わりまで完結すること。 ・議員の責任を果たせ。住民に寄り添っていない。土日に議会を開くこと。住民の声を聞くこと。

令和６年６月１３日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　 橋 尾 哲 夫

議員と気軽に語る会 実施報告書②

開催日時	令和６年５月 24 日（金）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	なごみの里山都
対象集落	下三原・柳山寺・中三原・上三原
参加者数	15 人
出席議員	班長（　橋尾哲夫　）　司会（　門脇教蔵　）　記録（　橋尾哲夫　） （　藤本一昭　）（　門脇保文　）（　市位裕文　）（　廣畑幸子　） （　清水俊博　）（　笹倉政芳　）（　藤原清勝　）（　内橋志郎　） （　吉田政義　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　市位裕文　）（　門脇保文　）（　藤本一昭　）
意見まとめ	・多可町の大型事業は全て中区に集中して建設している。その計画には総額の説明が多いが、内訳を説明して補助金がどのくらいの金額で、実質町の負担がいくらかを伝えるべきである。 ・八千代区は廃れている。大和村には以前役場、農協、小中学校もあり、とても繁栄していた。今は見る影もない。今後多可町は八千代区地域をどういうふうにするのか。 ・「子育てするならダントツ多可町」と言うならもっと精力的に何でも一番を目指すべきではないか。近隣市町をリードするような政策がダントツを意味するのでは。 例えば、産後、育休を取って現場復帰するにあたり、０～２歳で保育園に預けると、月６万円以上の保育料がかかる。加西市では保育料が無料ではないか。それぐらいして「ダントツ」ではないか。 ・出生数が少ない中で、若い子どもたちが転出している。私は５２歳で地元に子どもたちの就職先がなく不安である。この地域に住んでいる若者は、結局、多可町以外のところに住宅を建てて周辺の市町に居住している。 ・私は小さい頃から父に「お前は跡継ぎや跡継ぎや」と言われて育ちました。多可町にはハード・ソフト面において町の魅力があるのか。１人１人の声を本当に聞いてもらっているのか不満である。大和地域は多可町でも端の区域になっており、少しはハード・ソフト面を整備すること。 ・現在「村づくり」を担当しているが村づくりの予算の配分が少なく、行事を実行しようとしても予算の補助が不足している。もっと地域振興に力を入れるべきである。住民の数が減少し個人の負担が増え、集落運営等が停滞している。役員のなり手不足が深刻で、当然消防団による消化活動に支障が出た。 ・八千代区は道が狭いので道路の拡幅が急務である。三室バイパスの現状

	報告がある。落石があったのでフエンスの設置が必要。道路沿い路側帯の雑草がすごく伸びて視野に入り危険である。道路沿いの桜の枝が通行の妨げになっている。思い切った伐採すること。 ・田舎で犯罪に狙われてやすいため、防犯カメラが必要。大和地区ではトンネルが２本あるため防犯カメラが５か所必要。防犯カメラの補助金が出るよう早急に設置すること。大和から加西市河内に抜け、加西の高速道路に行ける道路が必要。早期に期成同盟を結び着工すべきである。 ・議員が当局からの説明に対し、イエスマンになっていないか。議会の捉え方を聞きたい。各議員の意見が必要ではないか。住民の代表としての立場を理解して発言してほしい。

令和６年６月１３日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　　橋 尾 哲 夫

議員と気軽に語る会 実施報告書③

開催日時	令和６年５月 30 日（木）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	八千代診療所
対象集落	大屋・坂本・中村・横屋・下村・門田
参加者数	６人
出席議員	班長（　橋尾哲夫　）　司会（　門脇教蔵　）　記録（　橋尾哲夫　） （　藤本一昭　）（　門脇保文　）（　市位裕文　）（　廣畑幸子　） （　清水俊博　）（　笹倉政芳　）（　藤原清勝　）（　内橋志郎　） （　日原茂樹　）
意見発表	（　門脇保文　）
意見まとめ	・20 年後の田圃の維持管理ができない。誰が維持管理するのか。 ・令和８年に中学校が統合するが、廃校の活用はどうするのか。 ・空き家問題として、相続放棄や危険家屋の対策はどうするのか。 ・コークゼミ等で老人対策は評価できるが、若者の数が少ないため、今後にどう対処するのか。 ・中野間地域の近場に商店が無くなり、買い物が不便。農協跡地にコンビニを建設すること。 ・農業に関しては地権者に責任を持たせ、思い切った対策を取ること。 ・農業協力隊を立ち上げ、農家の支援や休耕田対策をすること。 ・営農組合を充実させ、若者が農業に従事できるようにすること。 ・交通アクセスを充実させること。１日３回（朝、昼、夕）バスを運行すること。 ・買い物に不自由している人のために、移動販売車は各公民館の駐車場で販売すること。 ・ガルテン八千代をもっと整備し他地域から多くの人が来るようにスポーツを活性化させること。 ・アスパルの水銀灯を LED に交換すること。 ・女性が活躍できる場所をつくること。 ・八千代北小学校跡地が利用できないため、大きな避難場所がない。大きな避難場所を確保すること。 ・多可町に住む外国人がスポーツ大会に参加できるようにすること。 ・各地域の名所旧跡（おばけ椿）の環境整備をすること。 ・道路周辺の危険箇所を点検し、危険箇所を無くすこと。 ・エーデルささゆりの客室が少ない。もっと増やして客を増やすこと。

令和６年６月 13 日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　橋 尾 哲 夫

議員と気軽に語る会 実施報告書④

開催日時	令和６年６月７日（金）　19時30分～20時45分
開催場所	かみ総合福祉センター
対象集落	山寄上・鳥羽・清水・轟・山口・西山・市原
参加者数	７人
出席議員	班長（　足立吉継　）　司会（　廣畑幸子　）　記録（　笹倉政芳　） （　清水俊博　）（　門脇敎蔵　）（　藤原清勝　）（　内橋志郎　） （　大山由郎　）（　吉田政義　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　笹倉政芳　）（　足立吉継　）
意見まとめ	・不登校児・生徒の親の負担をなくす対策を講じてほしい。 ・多可町にフリースクールの拠点がある。運営に対し支援をお願いする。 ・農業の後継ぎがいない。10年先を目指した仕組みづくりが必要。 ・グループ経営を法人化して作業の分担化に取り組める指導を。 ・移住定住のハードルが高いので関係人口を増やす取り組みを。 ・「ちょっと便利な田舎」をもっとアピールするべき。 ・ネット環境を良くすれば、自然の中でいろいろな体験が可能になる。 ・若者を呼び戻すコツは「帰って来いよ」と声をかけることが大切。 ・村の祭に呼び戻せる支援策を町を挙げてやろう。 ・空き家を使ってふれあい喫茶をしたいが運営する人がいない。 ・多可高校は地域に必要な学校。県下３つ目の中高連携校にすれば生徒が集まるのではないか。 ・これからの議会は、定数を削減して報酬を倍にしたらよい。そして身分をしっかりしたら議員のなり手も出てくる。 ・消防団の団員報酬を上げるのに何年かかっているのか。 ・集落要望を１つに絞って提出してもなかなか採択されないので思い切ったことができない。 ・これからの村づくりにはお金が必要だが、各種団体に降りてくる予算も減っているので、コーディネートする課を設けて環境整備をしてほしい。 ・人口減少、少子高齢化で草刈り等村役員の負担が増えている。 ・村を元気にしたいが、定年延長、共働き、介護に追われてそれどころではない。今を継続するのが難しい。 ・シニアクラブの若い層が一番時間があるのでは。 ・村づくり協議会は補助金をもらうためだけのイベントをしている。

令和６年６月19日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　笹 倉 政 芳

議員と気軽に語る会 実施報告書⑤

開催日時	令和６年６月 13 日（木）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	グリーンプラザ
対象集落	安坂・糀屋・坂本・曽我井・森本
参加者数	20 人
出席議員	班長（　吉田政義　）　司会（　内橋志郎　）　記録（　清水俊博　） （　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　廣畑幸子　）（　門脇敎蔵　） （　笹倉政芳　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　清水俊博　）
意見まとめ	・人口減少の理由は町に魅力なし・仕事なし。 ・子育てするなら多可町と言うなら給食費・医療費の無償化などの対策が必要。 ・60 歳以下の家が村に半分もない。これはもう手遅れ。多可町全部がそうだと思う。村の合併が必要。子どもが誕生しない。人口減少、経済が成り立たない。一日一日が過疎化。 ・空き家問題をどうするか。子どもがどんどん出ていく。 ・年金生活が大変。いろんな負担を軽くしてもらいたい。 ・加西市、加東市のように雇用を生む工業団地が必要。近隣で働いている人が何とか多可町で生活している。 ・都市部とのアクセスがない。都市部からどうすれば気楽に人が来てくれるのか。 ・高速道路がないと人の流れ、物流など何も生まれない。町へ帰ってしまった人もいる。播但道へのアクセスを考えたらどうか。但馬との流通はどうか。 ・今の議員報酬では無理だとわかっているが、若い議員が誕生してほしい。 ・将来議員報酬も出せなくなったら、区長が議員の代わりをすればいい。 ・村の役員、学校の役員もなり手がない。 ・大きな家もいらない。将来の子どもに負担になるだけ。終活の段階に入っている。 ・村の法人の土地に固定資産税が課税されている。補助金が出るようにならないか。

令和６年７月１日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　清 水 俊 博

議員と気軽に語る会 実施報告書⑥

開催日時	令和６年６月 17 日（月）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	中プラザ
対象集落	高岸・奥中・徳畑・茂利・中村町
参加者数	３人
出席議員	班長（　吉田政義　）　司会（　内橋志郎　）　記録（　清水俊博　） （　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　廣畑幸子　）（　橋尾哲夫　） （　門脇敎蔵　）（　笹倉政芳　）（　市位裕文　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　大山由郎　）
意見まとめ	・新ごみ処理施設建設のため、自分の土地（圃場）があったが売却した。評価額等適正な価格であったのか。 ・３つの池があったが適正な価格なのか。 ・ライスセンター（JA）が 余熱利用するが埋め立てではなく再利用にしないのか。小さく粉砕して肥料にし販売を。 ・子ども２人（男・女）がいるが、ここでは仕事が見つからない。大阪、神戸等まちへ出たまま。 ・最終的に墓の管理はどうなるのか。公か私か。 ・多可町は交通の便が非常に悪い。 ・公共施設の跡地利用は効率的にせよ。ガタガタするな。 ・箱モノには反対しないが就職できる会社がほしい。 ・若者が少なく、消防団等役が重なり負担が大きい。 ・30 歳代の同世代が少なく、つながりが希薄。 ・空き家が多いが登録しているのか。 ・長男が帰郷し、家を建てようとしても農地転用が難しい。 ・農業の跡継ぎを。地域計画を作成しているが面積が狭い。 ・耕作放棄地が増えるばかり。抜本的改革が必要。 ・少子化対策には、企業誘致はぜったい必要。 ・天満神社のホタル祭ができない。水質検査を。

令和６年７月１日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　清 水 俊 博

議員と気軽に語る会 実施報告書⑦

開催日時	令和６年６月 20 日（木）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	那珂ふれあい館
対象集落	門前・安楽田・東山・田野口
参加者数	５人
出席議員	班長（　吉田政義　）　司会（　内橋志郎　）　記録（　清水俊博　） （　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　廣畑幸子　）（　門脇敎蔵　） （　笹倉政芳　）（　門脇保文　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　清水俊博　）
意見まとめ	・生活保護に関する情報の開示方法が変わったのか。家族構成等を民生委員に知らせないのはなぜか。以前は知らせていた。 ・杉原川堤防の草刈りが急斜面且つ広範囲。負担が大変大きい。夏季７月に大型機械での除草を希望する。秋季の県工事では効果が薄い。ぜひ夏と冬の２回を希望する。 ・高齢化の進展で集落内の町道法面の草刈りができない。役場でやってほしい。若い人がいないしケガをする。 ・街路樹、特に高木の維持管理ができていない。落ち葉や交通の視界が悪い。 ・人口減少が顕著。2050 年には人口が半分。箱モノの整理をせよ。 ・議会の開催を休日、夜間、土日にすればいいのでは。 ・各議員はどのような気持ちで立候補されたのか。 ・空き家、特に特定空き家の処分に１集落や自治体では困難。専門的知識が必要。危険空き家が長期間放置となる。

令和６年７月１日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　清 水 俊 博

議員と気軽に語る会 実施報告書⑧

開催日時	令和６年６月21日（金）　19時30分～20時45分
開催場所	かみ総合福祉センター
対象集落	丹治・大袋・三谷・箸荷・門村・杉原・奥豊部・観音寺
参加者数	８人
出席議員	班長（　廣畑幸子　）　司会（　足立吉継　）　記録（　笹倉政芳　） （　清水俊博　）（　門脇敎蔵　）（　藤原清勝　）（　市位裕文　） （　内橋志郎　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　内橋志郎　）（　廣畑幸子　）
意見まとめ	・「開かれた議会」とよく言われるが具体的にわかりやすい説明がほしい。 ・議員定数削減の賛否が７：６で否決したが仕組まれたものか。 ・立候補者が14人かつかつであるので１～２人減らしては。 ・集落の組織や団体が多くあるが維持していけるか不安である。 ・近年は個人個人が個人の事しか考えない風潮が大きな課題。 ・集会やイベントに参加する人はいつも同じ。切り口を工夫して今まで参加してない人にも配慮することが必要。 ・コロナ禍の影響で今までの生活が一転した。地域の村芝居やお祭りができなくなってしまった。やめるのは簡単だが続けていくことは難しい。 ・集落の運営について行事・団体や文化の継承についてのアンケートを取りみんながやりやすい取り組みを進めている。 ・この会議のことを知らない人も多い。自分も声をかけてもらったから来られたが。 ・開始時間が行きにくい時間では。開催時間などもう少し考えては。 ・あまり興味が無いのでは。 ・交通の便が悪い。高齢者の一人家庭など、病院にも買い物にも行きにくくなり困っている。免許返納後の不安がある。 ・うちの子どもは社高校へ通っているが、とても不便。 ・物価も高いので、ガソリン代などを考えて、仕事場の近くに住もうとする。 ・町営住宅に空きが多いのに入れない人がある。若い世代の人で所得要件が合わず町外に出てしまった。また高齢者夫婦が町内に家を建てる間借りたいと思ったが年齢要件で引っかかり断られた。もっと柔軟に対処できないか。若い人が出て行くのはもったいない。 ・町から来た人が町営住宅に入りたくても入れなくて困っている。結果出

	て行ってしまう。 ・中学校の跡地活用は？篠山では跡地を改良してキャンプ場を作って、学校関係が使っている。壁をぶち抜いて使い勝手の良い形にしている。青垣では旧神楽小学校を FOREST DOOR 神楽として子どもの遊ぶ施設になっている。 ・加美中を統合中学校にしたら良いのに。松井小と杉原谷小を統合するのなら加美中を使ったら良いのに。 ・地域に学校がなくなると子どもの姿も見られなくなる。 ・何でも中区へという考え方はどうか。 ・若い人は住みにくければ出て行く。加西市は水のない所だが、工業団地があるので人が増えている。 ・小野の会社は賃金も都会並みに高いし学校も多い。 ・地元で働くところが少ないので、卒業後帰っておいでと言ってもどこで仕事をするのという話になる。親も帰ってこいとは言いづらい状況。 ・友だちに二人目の子ども作らないのと聞くと、子どもが二人になるとやっていけないという答が返ってくる。 ・今は子育てにお金がかかりすぎる。 ・高齢者に負担をかけない町にして。

令和 6 年 6 月 26 日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　笹 倉 政 芳

議員と気軽に語る会 実施報告書⑨

開催日時	令和６年６月 24 日（月）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	中安田公民館
対象集落	西安田・中安田・東安田
参加者数	36 人
出席議員	班長（　吉田政義　）　司会（　内橋志郎　）　記録（　清水俊博　） （　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　廣畑幸子　）（　門脇教蔵　） （　日原茂樹　）
意見発表	（　清水俊博　）（　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　吉田政義　） （　廣畑幸子　）（　内橋志郎　）
意見まとめ	・若い人が少ない。若い人の参加をどのように促していくのかのかが課題。 ・三安田は秋祭りで交流がある。同様に三安田合同で盆踊り大会を催してはどうか。 婦人会組織の復活も仕掛けてはどうか。 ・中安田は、桜まつりを通して三世代交流をしている。予算制限があり、賑やかにしたくてもできない。予算の確保をお願いしたい。 ・動画で見ると、小野市のひまわり公園はいつも賑やか。余暇村公園をリニューアルして、遊び場を作ってほしい。若者は、新しい遊びの場所を望んでいる。 ・「敬老の日はみんなでおむすびを食べよう」の流れがよく分からない。しりすぼみになるとイメージダウンになる。 ・隣保は 10 軒ある。若い者が同居しているのは４軒。後の６軒は高齢者夫婦か一人暮らしである。隣の家に救急車が来て、二人暮らしの高齢者が一人になった。食べ物を持って行って、それが原因で喉に詰まらせると思うと、隣同士でも適わず難しい。 ・南小学校の児童数が少なくなってきた。集団下校する姿が疎ら。雨天の日など、自動車で迎えにいくといっそう歩く児童が少なくなり心配。 ・八千代北小学校の問題が知りたい。地元と役場、役場と議会のそれぞれの関係がギクシャクしているように感じる。一部の者の言うことを聞いて判断するべきでない。 ・箱物を作って、後はどのようにするのか。例えば中学校跡地問題などよく考えてほしい。 ・気軽に語る会のこのようなやり方に疑問をもつ。議員が「むらづくり」に案を示して意見交換をすべき。 ・住民の代表である議員の方が、村づくり、町づくりの案を示してほしい。

	・議員に立候補する条件整備、体制づくりが大事。報酬額で生活できるようにするべき。 ・議員数ではなく、議員個々の資質の問題。新しい政策提言等を出してほしい。 ・職員数も多い。職員数を減らし財源に充てることも一考。 ・消滅の町と新聞に載ったが、どれほどの危機感を持って、議員活動しているのか。議長はじめ議員の声を聞きたい。 ・子どもが少なく空き家が多いのは大きな課題。議会の考えは。 ・集落における区長、役員の負担が大きすぎる。なり手不足だ。 ・役場と集落がもっと近くになるよう意見交換の場を。 ・安田郷の高齢化率は非常に高い。 ・病院が遠く緊急時心配。 ・小学校の統合が非常に心配。６年後どうするのか。 ・統合した場合、通学・事故・学力など課題が多い。 ・統合中学校で更に空き施設ができるが、箱ものばかりが目立ち跡地等の効率的使用計画はあるのか。 ・生涯学習センターは図書館を併設するが、隣町にもミライエ等同様な施設がある。少子化が進む中、利活用のための具体策は。 ・利用者が少なく多額の投資を回収できないのではないか。 ・民間だと投資すればいつ、どのように資金を回収するか明確な戦略があるのが普通。「あすみる」はどうか。 ・高校を出て就職、進学で多可町を離れる。帰郷を促しても「仕事・働く場所がない」企業誘致を積極的にすべき。猶予はない。 ・地場産業を育てよ。山田錦発祥の地だけでは生きていけない。ブランド「日本酒」を育成し多可町へ飲みに行こう・買いに行こうとすべき。 ・日本農業遺産申請は良いことだ。北播磨全体で登録を。更にその先を目指せ。 ・住宅建設時の農地転用のハードルを下げるべきだ。 ・企業誘致等雇用が可能な事業誘致のＰＲが足りない。 ・国道 175 号や滝野社インター・加西インターからのインフラ（特に道路）建設・整備は必要。 ・多可町が小さく埋没しているように感じる。 ・南北道路のみならず東西市町との連携道路も考えるべき。 ・国会・県会など利用すべきところは利用せよ。 ・ふるさとを自慢できるものがほしい。必ずある。

	・山田錦・百日鳥・醤油・敬老・杉原紙・水・まつり・伝統など探せば光るものはたくさんある。見つけてうまく PR すべき。自慢や誇りができ、帰郷も増えるのではないか。 ・少子化が一番大きい問題。高齢者は 150 人くらいいる。子どもは 50 人もいない。 ・いきいき体操で頑張っている。グラウンドゴルフも楽しんでいる。することしないとだめ。会の後お茶飲んでお菓子を食べおしゃべりするのが元気の源。 ・仕事が無い。企業誘致が必要。中区に大きな事業所無い。加西インターのそばに工業団地が多い。西脇市の中畑にも大きい企業がある。中区では小野尻の手前くらいにしか無い。 ・町営住宅、所得が増えると出ていかないとだめ。結果西脇に行かれた人もある。空き家を活用できたら良い。 ・（昔の地域通貨の考え方と思うが）元気なときにボランティアをしてポイントをため、自分が必要になったらそのポイントでサービスを受けるという制度は無いのか。 ・丹波市バスは中学校の統合で時刻表が変更になり、一般住民のバスの利用も増えている（兵庫県で一番）。多可町はどうなるのか。

令和６年７月１日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　　清 水 俊 博

議員と気軽に語る会 実施報告書⑩

開催日時	令和６年６月 27 日（木）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	アスパル
対象集落	牧野・鍛冶屋・間子・岸上・天田
参加者数	12 人
出席議員	班長（　吉田政義　）　司会（　内橋志郎　）　記録（　清水俊博　） （　藤原清勝　）（　大山由郎　）（　廣畑幸子　）（　橋尾哲夫　） （　門脇敎蔵　）（　笹倉政芳　）（　門脇保文　）（　市位裕文　） （　日原茂樹　）
意見発表	（　大山由郎　）（　清水俊博　）（　藤原清勝　）
意見まとめ	・現在の出生数は 37 人。どのような学年編成を組んでの統合中学校なのか。通学バスの具体策は。 ・中学校に続き小学校の統廃合が心配。 ・通学、学力、学級運営など少子化をもっと真剣に捉えよ。 ・高校通学への補償が必要では。社高校は実施している。 ・こども医療費など小野市、明石市は着々と実施している。 ・消滅可能性自治体を真剣に考え人口増加を急げ。 ・消防団も構成できない。ボランティアばかりでかわいそうだ。 ・働く場所や企業誘致のための工業団地が必要。 ・企業誘致を急げ。加西市、加東市、福崎町等は着々と進め、人口も下げ止まりしている。多可町もより進めるべきではないか。 ・求人はあるが安定した公務員並の給料を。車で 30 分出ないと仕事ゼロ。 ・安定した職の確保・収入の確保・生きがいの確保が急務。 ・中国道（滝野社インター）へ繋ぐ道路インフラが必要。今は不便。 ・考え方を変えベッドタウン構想も良いのでは。 ・インフラ整備を急げ。コンパクト自治体へ新都市計画で整備せよ。 ・地場産業を育てよ。山田錦発祥の地だけでは生きていけない。 ・ブランド「日本酒」を育成し多可町へ飲みに、買いに行こうとする動きを。 ・水道代が高い。 ・議員も「会派」をつくり提案すれば良い。

令和６年７月１日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　清 水 俊 博

議員と気軽に語る会 実施報告書⑪

開催日時	令和 6 年 6 月 28 日（金）　19 時 30 分～20 時 45 分
開催場所	加美プラザ
対象集落	豊部・熊野部・岩座神・棚釜・多田
参加者数	17 人
出席議員	班長（　廣畑幸子　）　司会（　笹倉政芳　）　記録（　足立吉継　） （　藤本一昭　）（　橋尾哲夫　）（　門脇教蔵　）（　門脇保文　） （　藤原清勝　）（　内橋志郎　）（　市位裕文　）（　吉田政義　） （　日原茂樹　）
意見発表	（　足立吉継　）（　藤本一昭　）（　内橋志郎　）（　廣畑幸子　）
意見まとめ	・加美中を使えば 50 億かからなかった。全員バス通でもバス代に 50 億かからない。 ・町財政がしっかりしていないのに加美中を使わないのはおかしい。 ・小型合併槽も、想定の人口よりも極端に少なくなって、5 人槽で 1 人しか使用しない場合の浄化槽の運転状況について心配だ。綺麗な水を流せるように。 ・集落要望を出しても前に進まない。防災面からもスムーズに進めてほしい。 ・農業は JA のためにしているようなもの。米で最低限暮らせるように。 ・偶然事情で多可町に帰ってきた。豊かな生活は出来ない。魅力も何もない。今は・田舎も街も贅沢できない。でも街で暮らす方が楽。周りに気にすることなく自分の時間が使える。子どもに先祖代々の土地を守れなんて言えない。 ・村付き合いが大変。縛りが多く、土日にしないといけないことが多い。昔みたいに互助的なことがない。誰も助けてくれない。義務だけ背負わされて権利がない。 ・議員の仕事は住民から集めた税金を効率かつ公平に分配することだ。 ・議会傍聴を PR しているが、実際一般質問日の議員の質問通告の内容を広報すべき。たかテレビの文字放送などで告知すれば。 ・議員定数の削減が昨年上程されて結果として否決された。住民の多くの意見は議員の定数を減らすべきであるという意見が多数である。なぜ議員はそれを否決したのか。議会の考え方や議員の姿勢について疑問を感じている。 ・若い人に議員になってほしい。その環境に配慮してほしい。

	・高齢化している。若い人もいるが堤防の草刈りなど負担がかかる。若い人は普段機械を使うことが無く慣れていないので、機械を使うときは危険が伴う。 ・TAKA Fes に関わったが、多可町でもこんなのができるのだと実感した。アンケートを見たら「すごく感動した」が多かった。今までの事業をなんとなくやるのでは無く、新しい事業をやっていくべき。町全体が一丸となってやるとすごい力になる。 ・１番多かった 18 世帯から 16 世帯へ。50 人程度。変化はない ・今後の子どもたちのために楽することを考えよう。

令和６年７月５日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　足 立 吉 継

議員と気軽に語る会 実施報告書⑫

開催日時	令和６年７月５日（金）　19時30分～20時45分
開催場所	交流会館
対象集落	奥荒田・的場・寺内・西脇・山野部
参加者数	19人
出席議員	班長（　足立吉継　）　司会（　笹倉政芳　）　記録（　廣畑幸子　） （　藤本一昭　）（　橋尾哲夫　）（　門脇教蔵　）（　門脇保文　） （　藤原清勝　）（　内橋志郎　）（　大山由郎　）（　市位裕文　） （　吉田政義　）（　日原茂樹　）
意見発表	（　足立吉継　）（　藤本一昭　）（　内橋志郎　）（　廣畑幸子　）
意見まとめ	・親睦は大事。今はごみの問題、田んぼの問題がある。 ・シニアクラブも忙しい。役に付きたくない。人の世話も邪魔くさい。つながりが薄らいだ。隣近所と出会うのはお葬式ぐらい。昔は青年団、消防団に入るのは当然だったが、今は入らない。自由だ。 ・ダントツ多可町というのなら、町営住宅の空室に無償で入居を可能とする施策を考えてもよい。 ・女性のリーダー育成について、子供会、婦人会、シニアクラブなどでは女性の活躍もあるが、ほかのところでも女性の活躍ができるように力添えをお願いしたい。例えば報酬を。 ・女性の転出が多いのはなぜか。 ・議員の報酬が低すぎるから、議員のなり手がない。せめて、課長級の報酬にすればよい。西脇市議会議員の報酬と比べても低い。 ・川刈りや地元の神社仏閣の維持が大事だが、これからどうなるのか不安。 ・働くところがない。若者が町外に出ると帰ってこない。求人は多いと聞くが、賃金などを考えると街の方で仕事を選んでしまう。 ・地元では若い人たちで「草刈隊」を作っている。ボランティアではなく村から報酬を出す。それが若い人への応援となっている。 ・「支えあう会」を近隣の集落にも広げていければと思う。 ・視覚障がいでも安心して歩ける村をつくってほしい。 ・こういう場を設けることはよいこと。またしてほしい。 ・加美中の跡地活用。寺内は旧保育所で大変だった。早く利活用を検討すべき。 ・今更ながら加美中を使ってはどうか。活用してほしかった。バス通にするのなら一緒。

	・今後何を作るのにも中区になってしまう。すべて中区ベース。役場を中村町につくった時点で決まってしまった。 ・子育てするならダントツ。何がダントツなのか。学校に先生が多いわけではない。加美区への先生の配置はなめられているのか。加美町時代は町費で教員を雇って増やしていた。 ・古民家に注力するのなら、教育に使うとよい。 ・特色を生かすなら、予算がありませんは通用しない。 ・町営住宅が空いている。何か縛りがあるのだろうが、そんなこと関係なく貸したらよい。　・建物、箱モノ以外で人を呼び込まないと。 ・多可町（加美区）は働くところも多く良いところ。 ・多可町は今あるものを使うのが本当に下手。 ・統合中学校の校歌は必要だったのか。歌わない歌ばかり増えていく。 ・委員会や会など、住民を何回も集めて話させておきながら、結局覆えされてきた。町民のことを考える行政に。 ・婦人会や青年団がなくなり担い手である人が少なくなっている。集落役員がその負担を受けてさまざまに苦労を感じかけている。 ・地域からの要望で工事をお願いしても予算がつかない。例えば、通学路の安全帯先で舗装などを要望すると、農地の多面的…などを活用するように要望される。 ・地元の人が少なくなり村の作業をするのに、里帰りの参加者が結構多い。事故などの対応に「コミュニティ保険」が適用になるのかが心配。村の行事でも適用になるよう考えてもらわないと自治会として心配。 ・地域行政の活動をしているときに、中山間の活動支援メニューを使うと3000 円の補助が付くといったようなことがあるが、中山間のようなメニューを率先して交付してもらいたい。 ・消防団も里帰り消防団員で運営されている分団がある。消防団メンバーの実態をしっかり調査したうえで今後の運営を考えてもらいたい。

令和６年７月５日

多可町議会議長　　日 原 茂 樹　様

報告者　廣 畑 幸 子

「議員と気軽に語る会」アンケート結果

開催期間　令和６年５月１６日～令和６年７月５日
開催日数　１２日（中区５日・加美区４日・八千代区３日）
参加者数　１６７人
アンケート回収数　１４１人（回収率８４％）

Ｑ１　あなたの性別を教えてください。

・男性　　１２８人
・女性　　１３人

Ｑ２　あなたの年齢を教えてください。

・４０代　　５人
・５０代　　２５人
・６０代　　７６人
・７０代以上　　３５人

Ｑ３　あなたの住所を教えてください。

・中区　　７１人
・加美区　　３９人
・八千代区　　３１人

Ｑ４　どのようなテーマに関心がありますか。

・人口減少　　１０６人
・空き家問題　　５８人
・地域の助け合い　　５１人
・農業と林業の今後　　３９人
・各種団体の存続　　２２人
・男女共同参画　　１２人
・その他　　１３人
（子育て・小中一貫校・教育・中学部活・商工会・赤字町債・
消滅可能性都市・自然災害対策・安心・ＩＵターン支援）

Ｑ５　このような意見交換会があれば、また参加したいですか。

・参加する　　６７人
・わからない　　５８人
・未記入　　１２人
・参加しない　　４人

Q6　多可町議会に対して自由なご意見をお書きください。

【町づくり・施策】

・箱物建設は将来に無駄。やめるべき！（男性・70 代・八千代区）

・町の収入がない中で、建物に多くのお金を使っているが、赤字町債に頼っている現状をどう考えているのか。その負債は誰がいつ返還するのか。そのようなことを議会で話すべき。耳に良い話ばかりを議論するのは何の役にも立たない。本来議論すべきことを議論してほしい。（男性・60 代・中区）

・「あるもの」の有効活用を考えて下さい。（男性・50 代・加美区）

・成功例を研究してその施策を取り入れるのが早道のような。「限界集落！」この先どう延ばしていくか。先が見えない状態。できれば突破口を示してほしい。（男性・60 代・八千代区）

・今後の課題解決に向けてビジョンを。（男性・60 代・中区）

・多可町民が住みやすい町づくりを目指して下さい。空き家が増えているので早急な対応を目指して下さい。（男性・60 代・中区）

・若い方が住みよい町をつくっていただきたい。（男性・50 代・加美区）

・住みよい町づくり。（男性・50 代・中区）

・特色ある町を。（男性・50 代・中区）

・安全・安心な町づくりをよろしくお願いします。（男性・70 代・加美区）

・少子化対策。（男性・60 代・中区）

・教育の向上のみ。日本一を目指せ。（男性・60 代・中区）

・小中一貫校について考える時。北播各地は進んでいる。新中学校このままでいいのかな？急激な超少子化への対応。（男性・70 代・八千代区）

・老人会（シニアクラブ）の補助金を自由に使わせてほしい。
（男性・70 代・八千代区）

・高速道路。（男性・60 代・中区）

・大手企業の呼び込み活動。（男性・60 代・中区）

・町の職員を減らしてほしい。（男性・40 代・加美区）

【議会・議員】

・議員さんは住民の代表として、集落の役員等への聞きとりをどんどんやってほしいです。民意と離れているような一般質問もあるように思います。
（男性・60 代・八千代区）

・もっと将来図を描いた活気ある議会であってほしい。人が住みたくなる町づくりを目指してほしい。（男性・60 代・中区）

・住民の意見を町へ届けて頂きたい。若い人が議員になる体制をつくって頂きたい。（男性・50 代・加美区）

・多可町の将来のために頑張ってほしいです。（男性・60 代・中区）

・議員定数削減が否決され残念。人口減少に合った定数と多選禁止（多くの人が議会に参加できる機会を与えるため）。一般質問内容をたかテレビの文字放送で流す。（男性・70 代・加美区）

・議員報酬を上げるべき。（男性・60 代・八千代区）

・会派をつくる。政務調査費を創設せよ。（男性・70 代・中区）

・女性活躍。小野市のように議員の半分は女性。（男性・60 代・八千代区）

・がんばって下さい。（男性・70 代・八千代区）

・がんばって下さいね。今日の語る会、多可町のために皆さんの思いに感激しました。ありがとうございました。（女性・60 代・八千代区）

【議員と気軽に語る会】

・議員との話し合いになっていない。参加者同士の話し合いに終わっている。
（男性・60 代・加美区）

・議員各位にはこうした場を作って頂きありがとうございます。小生が今日まで暮らしてきた道も大変でしたが今後少子高齢化が次々進み集落の存続が危ぶまれつつあります。今後若者が色々施策を出し合って頂き村づくり町づくりに頑張って頂く事を願うばかりです。（男性・70 代・加美区）

・気軽に語る会という言葉で軽い気持ちで来ましたが、議員の方々がしっかりと話を聞いてくれたので気軽に話すことができました。
（女性・40 代・八千代区）

・この会は良かったと思います。（男性・60 代・中区）

・このような会をまた開いて下さい!!（男性・70 代・中区）

・年 2 回は今回のような会をお願いします。（男性・60 代・八千代区）

・様々な話ができることに感謝します。ありがとうございました。
（男性・60 代・加美区）

・お疲れさまでした。（男性・60 代・中区）
・